

日本文化総合博覧会「JapanExpo2019」に出展 ～内閣官房・ホストタウン登録自治体との共同展示～

フランス・パリで開催される欧州最大級の日本イベント、日本文化総合博覧会「Japan Expo 2019」に出展する。観光情報の発信や、オリンピック・パラリンピック史上初といわれるホストタウン^(※1)制度の取組みなどをPRする。

※1) ホストタウン

日本の自治体と、2020年東京大会に参加する国・地域の住民等が、スポーツ、文化、経済などを通じて交流し、地域の活性化等に活かしていくもの。またその交流を図る地方公共団体のこと。事務局は内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部。

1 Japan Expo 2019

日本の文化を多岐にわたり紹介する博覧会で、テーマは「マンガカルチャー」「ポップカルチャー」「現代文化」「伝統文化」である。2018年から会場内に観光エリアが新設された。

(1) 日程

7月4日（木）～7日（日）

(2) 場所

ノールヴィルパント展示会場（パリ）

(3) 出展形態

7つの自治体と内閣官房との共同出展（4ブース）

【自治体】山梨県、富士吉田市、富士河口湖町、高山市、金沢市、鎌倉市、豊岡市

(4) 趣旨

全国で、フランスをホストタウン登録している自治体は多く20件ある。他の自治体と連携して効果的な観光PRを行う。フランス・パリは、次期オリパラの開催地のため、2020東京大会への関心も高く、本市へのインバウンド効果が期待できる。

(5) 主な内容

ア ホストタウンとしての取組みを紹介する。

イ 魅力ある観光情報を紹介する。

(ア) ブース内にモニターを設置し、PR動画（観光促進など）の放映

(イ) 観光パンフレット等の配付

2 本市からの参加者

市職員2人（スポーツ振興課、秘書広報課）。

なお、本市は、兵庫県パリ事務所職員1人の応援を受ける。

3 出展費用

国が、展示ブース費、レイアウト費、旅費・宿泊費（国内移動を含む）を負担する。

《参考》

昨年(Japan Expo 2018)の状況

(1) 来場者数 243,864人

(2) 出展ブース 企業、自治体など903ブース

〔問合せ〕豊岡市地域コミュニティ振興部スポーツ振興課 TEL 0796-21-9023